

祝長浦地区農協合併予備契約調印



新しい長浦農協に向けて

長浦農業協同組合(佐藤之良組合長 写真左)と豊栄下郷農業協同組合(池田市司組合長 写真右)の合併予備契約の調印式が、11月7日行われました。組合員ら100人程が見守る中、石井市長立合いのもとで両組合長が契約書に署名押印し、固い握手が交わされました。正式合併は明年3月1日の予定で、これによって葛塚、木崎、岡方と旧町村が各一農協となります。



新しい消防自動車お目見え



社団法人日本損害保険協会から消防自動車に寄贈され、このほど市民にひろうされました。消防本部では新戦力として期待を寄せています。



武道の型をひろう

11月23日、葛塚小学校で第1回合同演武会が行われました。これは、空手道、躰道、少林寺拳法の三団体が合同で練習の成果を演じたもので、見学者から盛んな拍手をあげていました。



10種目のゲームに熱中

小学生を対象にしたゲーム大会が、11月25日、岡方中学校で開かれました。この大会は、地区の子ども会育成会連絡協議会(会長外山和美)の主催で行われたもので、参加した約150人の子どもたちは、ビンのフタを利用したゲームなどに夢中でした。



(23)

スオトコのこと

年末のことを「セキ」といい、いよいよ正月を迎える準備の始まる二十日過ぎのことを「セキのツメ」といった。納豆ネセやもちつきや支度にかかるが今の大掃除にあたる「ススハキ」も若い衆の仕事であった。ワラや木をたいていたので天井やはりなどはすすで真っ黒であった。このすすを払うのに用いるのが「スオトコ」である。

一束ほどのスグリワラを長い竹ざおの先に束ねたごく簡単な道具であるが今までのところ三通りの作り方を聞いた。いちばん簡単なのはワラの根元の方を上にしてそ



横土居のスオトコ

のまま縄で縛ったもの(太子堂)。次に同じく根元を上にして縛り、下になった穂先の方を中程から上の方に折り返してもう一度縛る。このとき穂先の不ぞろいの部分(シヤングシヤングした所)を内側に合わせた根元に合わせて切りそろえなければならぬ(横土居)。第三の方法はこれと逆の作り方である。穂先を内側にして堅い根元を外側になるように折り返す

とはさみを入れることもなく、コギリついたすも落としやすい(上大月)。

ワラの根元の方を横土居では「モト」穂先の方を「ウラ」といい、上大月では「シビ」と「ヌイゴ」であるという。ススハキが終わると他のゴミと一緒に焼き捨てられるが、ワラがもつたないのたいた肥にした人もあったと聞いた。

市史協力員 竹内 晃

市史編さんにご協力を

- 市では「豊栄市史」を編さんするため、資料調査を実施しています。次のような資料等をお持ちの方あるいは知っておられる方は、市史編さん室(博物館内六六一〇八一)までご連絡ください。
- 土器、石器など
- 古い文書、記録、写真など
- 昔話、伝説など

表紙のことは

「正月の花」として名高いシクラメン作りは十年以上という笹川久さん(上黒山一区、三六歳)。ハウスの中は、戸外の寒さを吹き飛ばすように、赤、白、ピンクなど色鮮やかなシクラメンが満開です。奥さんの美枝子さん(三四歳)と二人で、最盛期を迎えたシクラメンの出荷作業に大わらわでした。

編集室

- ▽ 今年最後の「広報とよさか」をお届けします。バス路線再編問題、市の十大ニュースなどを中心に編集しました。
- ▽ 今月一日、葛塚市で民生委員有志による「歳末助け合い街頭募金」が行われました。世の中豊かになったと言われますが、広く世界を見れば、毎日多くの人たちが飢えて亡くなっていると言われています。今さらながら日本は物質的に豊かなんだなあと感じます。
- ▽ 明年は市制施行十五周年で、昭和六十年代の幕明けです。新しい年もよろしく。